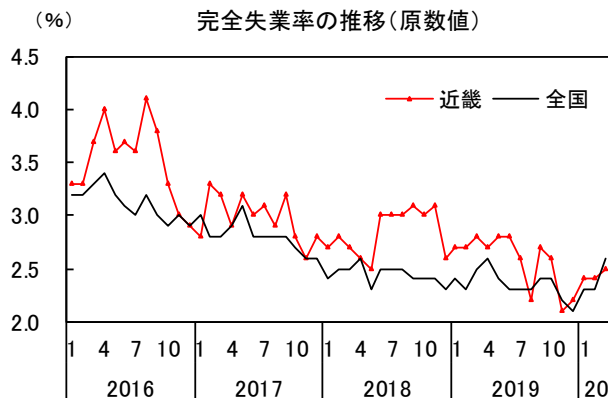
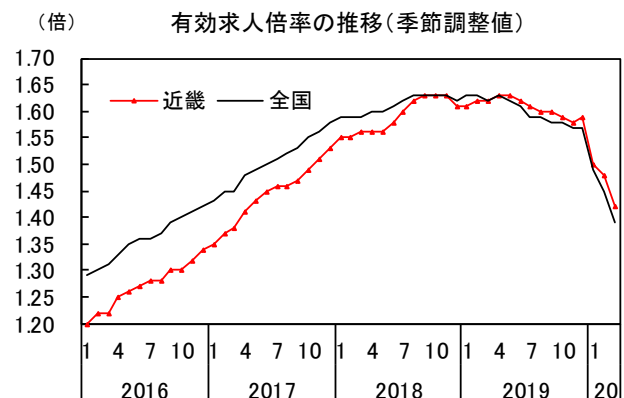


関西の景気トピックス【雇用関連（20年03月）】

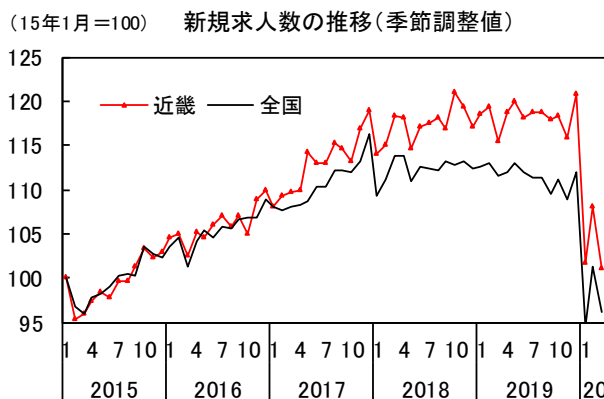
- 20年3月の労働力調査（総務省）によると、近畿の完全失業率は3.1%（原数値）と、前年比で0.3ポイントの上昇となった。前年を上回るのは10か月ぶり。変化の内訳は、就業者数が前年比で17万人増えたほか、非労働力人口が22万人減った。その一方、失業者は4万人の増加となっている。
- 一方、近畿の有効求人倍率（厚生労働省）は、20年3月は1.42倍（季節調整値）と前月比で0.06ポイント低下した。直近の3か月で0.17ポイントの低下となり、水準も2017年4月（1.41倍）以来の低さとなっている。
- 近畿の失業率、有効求人倍率ともに、徐々に前年や前月比での悪化傾向が強まりつつある。今後も新型コロナウイルスの影響が続く中、失業者や求職者の増加に加え、賃金の低下についても注意が必要となろう。



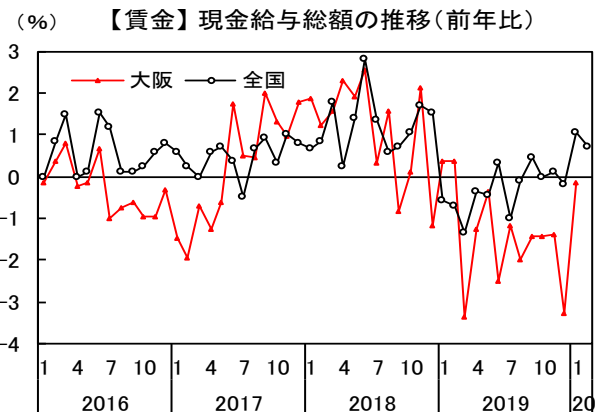
(出所)総務省「労働力調査」



(出所)厚生労働省「職業安定業務統計」



(出所)厚生労働省「職業安定業務統計」



(出所)厚生労働省「毎月勤労統計調査」